

大和地区

第2層協議体

団体名

大和地区支え合い協議会

スローガン

こえかけ・ふれあい・ささえあい

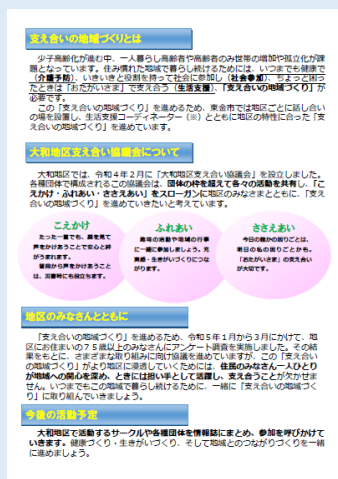
これまでの歩み

令和4年2月 大和地区支え合い協議会設立
令和5年1月 高齢者ニーズ調査の実施
ニーズ調査の結果から、生活支援が地域課題として挙げられた
令和6年4月 支え合いの地域づくりについて意識共有ポスターを作成、大和地区にて回覧
令和6年7月 情報誌「つながる」を発行

協議体の特徴

生活支援の提供を大きな目標とし、その前の準備として、大和地区における「支え合いの地域づくり」の土壌づくりに力を入れている。

大和地区支え合い協議会は、大和地区社会福祉ネットワーク会議専門部会（地区振興協議会、区長会、地区社会福祉協議会、民生児童委員、長寿会、大和四つ葉会（ボランティア団体）、スポーツ協会、食生活改善会、子ども会）によって構成されている。その中でも幹部会を構成し、より具体的な取組について協議を行っている。



大和地区支え合い協議会にて作成した
意識共有ポスター

活動実績①

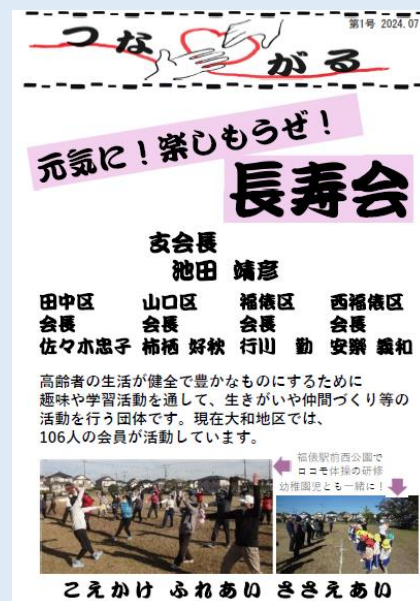
「大和地区支え合い協議会」（意識共有）チラシを作成し、地区での回覧や、区民の閲覧する場所へポスター版にして掲示した。
 まずは、大和地区における「支え合いの地域づくり」について、意識共有を行うことが最優先であるとの意見があり、令和6年5月よりポスターを使用しての意識共有に乗り出す。

活動実績②

情報誌『つながる』の発行開始（令和6年7月 第1号発行）。年6回発行を予定している。
 情報誌には、地域にある各種団体等の活動を紹介し、地域の活動を広く周知するとともに、新しい社会参加の意欲を生み出すことを目的としている。
 また、各種団体等の紹介に加え、生活支援サービスの紹介コーナーも設けており、高齢者が利用できるサービス等の周知も図っている。
 ≪令和6年度実績≫
 7月 第1号発行 / 9月 第2号発行 / 11月 第3号発行



大和地区支え合い協議会
 情報誌編集委員会の様子



情報誌「つながる」第1号